



消費者教育NPO法人
お金の学校
くまもと

消費者教育NPO法人

お金の学校くまもと

会報・第5号 2006年10月発行

〒862-0950 熊本市水前寺2-21-19-2F水前寺NPOハウス TEL・FAX 096-384-4453
<http://www7a.biglobe.ne.jp/~ngaku/> mica@mtj.biglobe.ne.jp 発行責任者 徳村美佳

ネットオークションにハマる！？

徳村美佳

最近ふとしたことがきっかけで、インターネットオークションに夢中になっています。インターネットオークションとは、出品された1つの商品に対して不特定多数の人が値段をつけて、一番高い価格をつけた人が競り落としていくオークションを、インターネットの画面上で行なうものです。消費者啓発の記事などで、商品を落札したが届かないという相談事例をよく見ていたこともあり、こんなリスクの大きいものをいったい誰が利用するのか気が知れないと思っていました。ところがいったん画面を覗いてみると、一気にその魅力に取りつかれてしまいました。子どものころに遊んだおもちゃや読んだ本、使っていたお弁当箱やお箸箱、どれをみても涙が出るくらいなつかしいものばかりです。そこで、おそろおそろオバケのQ太郎お金遊びセット500円ナリを入札。ライバルをみごと蹴落として510円にて落札。その後は、出品者と直接メールでやりとりをし、先払いで商品が届くのを待ちます。お金を渡し、おまけに個人情報をごこの誰とも知れないひとに明かすのですから、もうドキドキです。商品ですが、だまされた！？と心配する間もなく、すぐに届きました。

ネットオークションをやってみてわかったことがたくさんあります。それは、基本的に世の中はよいひとが多いということ（こんなにもネットオークションが盛んなことやほとんどのひとが毎日平穩に生活できていることを思えばあたりまえですが）。取引を安全に行なう



オバケのQ太郎お金遊びセット

ためのシステムが構築されている。たとえば、エスクローサービス（落札者からサービス会社が代金を預かり出品者が落札者に商品を送ったことを確認後、代金を支払うしくみ）。ほしいと必要は、ひとそれぞれであること。出品されているものを見ると、なんでこんなものがこんなに人気があるの！？と思うことが多々。ほんとうにひとの価値観はそれぞれです。

お金と上手につきあう本（晶文社）には、「ほかのひとが大切にしているものを、なんの価値もないものだといっけいはいけない」「生活の中で、ほしいという気持ちはどこからきたものなのか、それが自分にとってよいことなのか考えることがたいせつだ」と書いてあります。小学校の家庭科の教科書に「ほしいと必要を考えよう」という記載がありました。でも、肝心の「ほしい」とはどういうことか、「必要」とはどういうことかについては、残念ながらなんにも書いてありません。私たちは、大事なことをきちんと考えているでしょうか。

身近なひとが多重債務に陥っていたら

—その2 まわりのひとの気持ち—

みなさんの周りで、多重債務の問題で悩んでいるひとはいませんか？

また、もしかしたら……と気になるひとはいませんか？そのようなひとがいるとき、私たちはどうすればよいのでしょうか？これから何回かに分けて、身近なひとが多重債務に陥っていた場合に周りのひとが知っておくべきことについてお話しし、そこから見えてくる問題をみなさんと一緒に考えたいと思います。第2回目は、多重債務者の身近にいるひとの心理状況について考えます。

ある学習会で知り合った女性から徳村にご相談のメールが届きました。ご本人の了解のもとに、メールのやりとりをご紹介します。そこから、どのようなことが見えてくるでしょう。少し長いですが、一緒に読んでみましょう。

2006年9月25日 20:57

送信者：人野良子さん

実は私の付き合ってる相手が多重債務者です。借金があると告げられたけど、誰にも頼れず一人で懸命に頑張ってる彼を支えていこうと付き合ってきました。でも徳村さんのお話を聞いて、このままだと二人の未来が真っ暗なことが分かりました。出来るかぎり早く彼を相談に行かせるよう説得します。何かできることがあれば教えてください。

徳村

メールをありがとうございます。彼の支え方を間違えてしまうと、一緒に倒れてしまいます。彼がマラソンランナーなら、人野さんは伴走者です。彼がまずやるべき事は、事実を見つめて、一步踏み出す事。まず、借金の全額を調べて債務整理をする事。人野さんは心の支えになる事。けっして経済的な支えにならない事です。ご本人からのご連絡お待ちしております。

2006年9月25日 21:10

送信者：人野良子さん

実はこういう状況なので彼氏がいることも限られた人にしか話してません。それに彼に借金があることは、やっと徳村さんに初めて言えました。徳村さんのような方に出会えてよかったです。彼のよき伴走者になれるよう心していきたいと思います。それで、一度だけ彼にお金を貸してしまったことがあります。急に車が故障したのに7万円+次の日の返済にどうしても足りなくて3万円。貸すときには、私はお金の貸し借りが一番嫌いだしお金で繋がってる恋人同志になるのが悲しいこと、絶対借りたことを忘れないこと、私にちゃんと返すこと、ほかの返済もすること、今以上の借金を作らないこと、私もなけなしのお金であることを伝えました。それ以来私に借りることはありません。今となれば彼を助けたつもりがかえって状況を悪くしたのかもしれないね。でもその時は困ってる彼をなんとかしないってことしか頭になくて。

徳村

そうかあ。その時はそういう気持ちになりますよね。誰でもお金がどうにか回っているうちは、事実を見ようとしません。彼が現実を受け入れようとしてくれる事を願います。「お金の問題は方法を誤らなければ必ず解決します」と彼に伝えてください。連絡お待ちしております。

相談者の彼から連絡があることを待っていた徳村でしたが、事態はもっと悪い方へ進んでいました。
続きを読んでみましょう。

9月27日 21:26

送信者：人野良子さん

どうしようもなく徳村さんに連絡しました。実は彼が会社の売上金を盗まれたそうなのです。車の鍵をかけ忘れたために。窃盗だとしても自己責任で会社に言えばクビになるらしく、私に相談したものの、また自分で何とかするからと言って電話を切りました。彼に貸すところなんてないし、日掛けで借りたらどうしよう...彼はまだ途中で詳しい話を聞いてないのですが、何とかできないから私に言ってきたんだと思います。親には言わないと思うので、もし私にできる範囲ならお金を出そうと思ってます。私にできない範囲なら私が親に借りようかとも考えてます。こんな事態だから。信じていますが、もしかして彼が借金返済のために売上金に手をつけたのなら...、とも不安になります。どちらにしても職を失うと借金を返済できなくなるから、私が力になるしかないです...

徳村

彼の話がどこまで事実なのかわかりませんが、いずれにしても、すぐに人野さん自身が動かない事です。それと、トラブルをお金で解決しようとする事。問題は、お金を準備すれば解決する話ではないという事を落ち着いて見つめる事です。お金が盗まれたのであれば、その事実を会社に伝え、適切な処置をする事が先です。もし、彼が借金している事を人野さんが知らないで彼から同じ話を聞いたら、彼にどういうアドバイスをしますか。なぜ自分は、彼にお金を渡そうとしているのか見つめて下さい。自分は、伴走者です。伴走者は、ランナーと同じように走ってはいけません。

今回の話が、たとえ彼の親からの相談であっても、私は彼にお金を渡すなどアドバイスします。お金で解決する話ではないからです。不注意でお金を盗られたにせよ、まず会社に報告し、しかるべき処置をする、それが信頼できる社員でありしかるべき処置をするのが信頼できる会社です。盗難であれば、会社がかけている保険で対応できるかもしれません。今回の事で人野さんがあわててしまうのは、彼が借金の事で悩んでいることを知っているからです。周りは、本人が悩みを解決できるよう動いてあげる事が大事。

自分の大切なひとが、借金を抱えているうえに仕事までなくしてしまいそうです。人野さんの気持ちがわかりますか？
みなさんなら、こんなときどうしますか？
もう少しメールのやりとりを読んでみましょう。

6年10月

9月27日 23:30

送信者：人野良子さん

徳村さんのメールで少し冷静になれました。あれから何回も彼に連絡をとって見たのですが出てくれません。さっき彼と話せた時には会社に正直に話すように説得したのですが、以前こういう事例でクビになった人がいたらしく、彼は会社には言わないの一点張りで...

徳村

盗まれたお金を準備しても、根本的な解決にはなりません。もし、お金を準備しなかったために彼が会社をやめるような事になっても、それがかえって多重債務の解決のきっかけになるかもしれません。もし彼に渡すのお金があれば、借金の事を根本的に解決するための弁護士費用のためにとっておいて下さい。彼は今おぼれている状態です。とっさに飛込んで助けようとすると一緒におぼれます。彼を助けたければ、まず自分は岸にいる事。心配でしょうが、彼が連絡して来るまで待つ事。彼を追い掛ける事は、彼も自分も追い詰める事になります。

9月27日 23:48

彼に話を聞いてもらえないなら、心配でしょうがないのですが後は彼がすることを見守るしかないですね。彼の力になりたいけど、お金を出すことはそれとは逆のこと...ですね。私は動かないでしばらく彼からの連絡を待ってみます。夜分にすみませんでした。また状況が変われば連絡します

どうにか落ち着きを取り戻しそうな人野さん。
みなさんなら、人野さんにどのようなアドバイスを
しますか？

徳村

心配な状況ですね。ただ、彼が本当に人野さん自身の存在を必要としているのであれば、きっと連絡して来るでしょう。その時に、彼が何を必要としているのか冷静に見つめる事です。精神的な支えなのか、お金なのか・・・このまま放っておけば状況はますます悪くなりそうですが、彼が現実を見つめるには、きっと必要な事なのだと思います。辛い言い方になりますが、彼は墮ちる所まで墮ちなければ目が覚めないのかもしれないかもしれません。伴走者ができるのは、間違っただ道を走らないよいに、コースを教えてあげる事。指示に従わないのはランナーの責任です。従わない責任まで、伴走者が負う必要はありません。人は一人分を生きればよいのです。彼の人生を背負う必要はありません。また彼もまた彼一人の人生を生きればよい。この点を踏み超えて、お互いに依存してダメになっていくケースがとても多いです。なぜ彼を応援したいのか、なんのためなのかよく見つめる事です。案外、自分自身のため という場合もあります。

一生懸命に彼を支えようとしている人野さんに対し、案外自分のために応援している場合もあると返信しています。それはなぜでしょう。
人野さんはこのあとどうするのでしょうか。

続きは、
次号で

6年10月

活動報告

のページ

尚綱短期大学 川口恵子先生をチームリーダーに、検討を重ねてきました多重債務者の生活再建支援「家計管理支援プログラム」が完成いたしました。これからは、実践を重ねながら改良していくこととなります。当NPOでご相談を受けた方でこのプログラムにトライしはじめている方もいます。

- ☆ **4ヶ月間で家計管理の基礎を身につける
ステップアップ式プログラム！**
- ☆ **いつから始めてもOK！**
- ☆ **超カンタン！**
はじめは、買ったものを記入するだけ！
- ☆ **少しずつできるようになる！**
- ☆ **家計管理に自信がつく！**

あるご相談者からは、裁判所から免責が出た日に、弁護士から「これからは大事なのだ」と言われ自覚ができた。それまでは、免責が出さえすればよいという安易な考えや、免責が出て再び多重債務に陥るのではないかという不安があった。自覚した後すぐに家計管理支援プログラムに入ったことで、さらに自覚が出て不安が減っていった』という声を聞きました。生活再建支援の必要性を改めて感じています。

熊本県青少年健全育成 補助金交付決定！！

ケイタイを持つための免許取得までの
基本的な教習の流れ

- Start！・入所手続き
- Step 1・学科教習
- Step 2・仮免許学科試験
- ・基礎技能（ケイタイの基本的な機能を使う）
- Step 3・仮免許技能試験
- ・応用技術（ケイタイに付随する機能を使う）
- ・特定教習（危険予測、情報収集教習、応急救護処置など）
- Step 4・本免許学科試験
- Final・本免許技能試験
- Goal！！・免許取得

県が募集していた補助金交付に応募したところ、補助金をいただけることになりました。

企画名は、「ケイタイの学校 - きみはケイタイをもつ実力があるか？」です。実施団体は、玉名市立八嘉小学校6年生（42人）です。

総合的な学習の時間の情報モラルを単元として45分授業を10コマいただけることになりました。イメージとしては、NHKの番組「ようこそ先輩、課外授業」みたいな感じでやれたらなあと思っています。子どもたちと一緒に、自動車学校の教習内容を参考に、ケイタイ学校の教習内容を考えケイタイ学校のプログラムを作成します。このプロジェクトの様子については、次号でお伝えいたします。どうなることかと心配ではありますが、とっても楽しみでもあります。

事務局だよ

☆行列のできる法律の学校のお知らせ

「法教育講演会」と弁護士についての疑問や質問に答える「トークライブ」を開催します。

日時 2006年12月 1日（金）

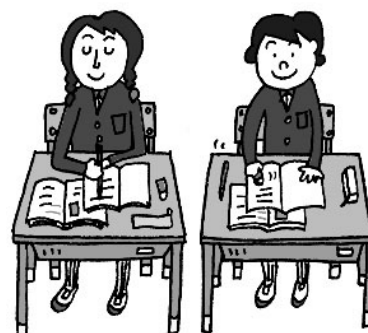
開場 13:00 / 開催時刻 13:30～16:00

会場 くまもと県民交流館パレア会議室1

定員 100名

資料代 500円

ゲストスピーカー 弁護士・山崎佳寿幸氏
熊本県立大学4年生・小西貴博氏



第3回熊本おこづかい会議のお知らせ

お金の話で、日本中に「笑い」と「感動」を届ける大阪のおもしろおっちゃん

「いちのせかつみ氏」の「講演会」と、おこづかいについての疑問や質問について語る
「トークライブ」を開催します。

日時 2007年 1月27日（土）

開場 13:00 / 開催時刻 13:30～16:00

会場 熊本市総合体育館・青年会館（青年会館ホール）

定員 100名

資料代 500円

ゲストスピーカー ファイナンシャルプランナー・いちのせかつみ氏
弁護士・鹿瀬島正剛氏

なつかしい

お金のおもちゃ

などの展示もあります。

銀行遊び

お買い物ごっこetc.

お金の学校くまもと関連の本が当たる抽選会
も予定しています。

たくさんの方もご参加をおまちしております。

お問い合わせは

FAX・電話 096-384-4453

メール mica@mfj.biglobe.ne.jp

